

# 郭沫若による『里見弴作 雪の夜話』および 魯迅による『芥川龍之介作 羅生門』の中国語訳の語法

郭沫若译的里見弴作《雪夜的话》和  
魯迅译的芥川龍之介作《罗生门》的中文语法

Special Phrasing in Chinese Translation  
of Guo Moruo from Ton Satomi's *Yukino Yobanasi*  
and of Lu Xun from Ryunosuke Akutagawa's *Rashomon*

大 高 順 雄  
Yorio Otaka

## 要 旨

里見弴作『雪の夜話』<sup>1</sup>の郭沫若訳『雪の夜話』<sup>2</sup>と芥川龍之介作『羅生門』<sup>3</sup>の魯迅訳『羅生門』<sup>4</sup>との特徴を明らかにするため、着、著、了、啦、把、将、略の用法を検討する。両作品は分量において相違を示すが、日本語原文の豊富で多彩な表現と中国語訳文の簡素な表現の対比は興味を惹く。特に、俚言が頻出する里見弴の文は郭沫若に苦慮を強いたと思われる。惜しむらくは、末尾が蛇足と判断されて訳出されていない<sup>6</sup>。一方、論理的な簡潔な芥川龍之介の文は、魯迅を躓かせなかったであろう。二文人の丹

- 
- 1 里見弴作『雪の夜話』「里見弴全集 第1巻」改造社 1931年5月 p. 532-37. (雪と略)
  - 2 郭沫若訳『雪の夜話』「日本短篇小説集(上)高汝鴻選譯 王雲五主編」萬有文庫 第一集 一千」商務印書館發行 中華民國二十四年三月初版(雪と略)
  - 3 芥川龍之介『羅生門』「羅生門・鼻・芋粥・偷盜」岩波文庫31-070-1 岩波書店 2012年、第13刷(1960年第1刷) pp. 7-17. (羅と略)
  - 4 魯迅訳『羅生門』「魯迅譯文全集 第二卷」北京魯迅博物館編 福州 福建教育出版社 2003.3 pp. 89-93. (羅と略)
  - 5 郭沫若訳の芥川龍之介作『南京の基督』、『蜜柑』、『鼻』、志賀直哉作『正義派』、および魯迅訳の武者小路実篤作『ある青年の夢』については、拙論「郭沫若の中国語訳における‘着’の用法」大手前大学論集14、2014年、pp. 287-318を参照。
  - 6 里見弴作『雪の夜話』(上掲書) p. 536下13-p. 537中17.

精した中国語白話は範例とするに相応しいと考え、文例を網羅して検討に附する。

本文关注的焦点，是通过探讨着、著、了、啦、把、将、略的用法，揭示郭沫若译的里見弴作《雪夜的话》和鲁迅译的芥川龍之介作《罗生门》的中文特征。虽然这两篇作品在篇幅上现出不同，但是日文原文的丰富多彩的表现形式与汉译的简单素朴的表现方式的比较则颇为引人注目。特别是里見弴的原文频出的俚言用法，从中我们不难看出给郭沫若带来的难度。他把结尾看作是多余的部分，没有予以翻译，这也是非常遗憾的。然而，芥川龍之介的原文简洁明了且有论理性，减少了鲁迅在文字上的一些徘徊与困惑。这两位文人精心拟制的白话译文，与范例相称，在此列举所有的例文并予以分析研讨。

引用に当たっては、里見弴作『雪の夜話』（旧仮名）における同字記号は旧仮名に変え、数字は頁数を、上は上段、中は中段、下は下段、郭沫若訳『雪の夜話』（繁体字）における数字は頁数と行数を示す。同じく、芥川龍之介作『羅生門』と魯迅訳『羅生門』における数字は頁数と行数を示す。

なお、文中で使用した符号は下記のようなものである。

- A 完了・過去時制
- B 現在時制
- C 未来時制

**鍵 語：**里見弴作『雪の夜話』、芥川龍之介作『羅生門』、郭沫若、魯迅、中国語訳

## 例 文

### I 着

#### I.1 着

##### A.1 た（終止形）

雪532上3 遮られた | 雪45.2 被遮斷着

雪532上8 ハラハラと落ち続けた | 雪45.4 粉粉地落着

雪532中11 白く長い息を吐いた | 雪46.8 吐着白而長的氣息

雪532中22 歩いて行つた | 雪47.2 走着

雪532下25 戸口があつた | 雪48.7 開着門道

雪532下26 叩いた | 雪48.7 叩着

雪534中2 二人は顔を見合わせた | 雪54.12 兩人對着

雪534中14 黙つてムシヤムシヤ食ひ始めた | 雪55.7 默默地開始啃着

雪534中24 ただ貪り食つた | 雪55.12 只是貪吃着

雪532中29 進んだ | 雪47.4 前進着

雪536中2 耳をすました | 雪62.12 尖着耳朵

雪536中19 生徒の一人が尋ねた | 雪63.10 生徒の一人問着

\* 羅9.9 藁草履をはいた足を、その梯子の一番下の段へふみかけた | 羅90.25 拾起登着  
草鞋的脚来、踏上着梯子的最下级去

\* 羅13.2 無言のまま、つかみ合つた | 羅92.10 默然的叉着

\* 羅14.3 その下人の顔を見守つた | 羅13.18 看着家将的脸

## A.2 た / だ (連体形)

雪532上21 ズボリズボリこいで来た彼 | 雪45.9 蹉着走来了的他

雪533中9 土間につつ立つたまま | 雪50.10 在土間裏屹立着

雪536上27 悲しい思ひをした挙句に | 雪62.8 受着種種的苦難

雪532中14 汗ばんだ喉に冷たい大氣が快い | 雪46.10 冷氣觸着汗涔涔的喉嚨很是舒服

\* 羅7.3 胡麻を蒔いたように | 羅89.13 仿佛撒着胡麻似的

\* 羅14.10-1 死骸の頭から奪つた長い抜け毛を持つたなり | 羅93.2 捏着从死尸拔下来的  
长头发

\* 羅16.9 剥ぎ取つた檜皮色の着物 | 羅93.23 剥着下來的桧皮色的衣服

## A.3.1 て

雪532上5 土間に立つて | 雪45.3 土間上立着想

雪532中2 突つ立てて | 雪46.4 尖挺着

雪532中25 蒼白い地肌を露して | 雪47.3 呈着蒼白的木質

雪533上3 鋭く眼を瞞つて | 雪49.1 尖着眼睛

雪533上4 光を背負つて | 雪49.1 向背着光

雪533上17-8 方三尺ほどの箱火鉢が据ゑてあつて | 雪49.9 安着有一个三尺的匣火盆

雪533下25 折角此の雪の中を出て来て | 雪53.2 冒着雪走了来

雪534上10 アカラ顔を人のいい微笑に皴めて | 雪53.11 把赭红的臉縹着

雪534上20 下男の老爺さんにも手伝はせて | 雪54.4 叫一位男僕幫着

雪534下26 牧人が牧草を遂うて轉じて行くやうに | 雪57.9 像牧人逐着牧草的一樣

雪535中7 伴天連の法を擴めて | 雪59.8 推廣着「伴天連」的宗旨

雪535中30 そう云つて | 雪60.6 那樣說着

雪535中31 焼鏝でもつて | 雪60.6 把藏着燒好了的熨鐵

雪535下10 すぐつかまつて | 雪60.10 立刻便被捉着

雪536上8 死ぬのを待つて | 雪62.1 只好等待着姐姐死了

雪536上18 伴天連の弟子たちの行方を尋ねて | 雪62.4 追踪着「伴天連」の弟子

雪536下7 慌てて | 雪64.10 慌忙着

雪536上8 死ぬのを待つて | 雪62.1 等待着姐姐死了

- \*羅8.2 明日の暮しをどうにかしようとして | 羅90.7 想着那明天的活计怎么办
- \*羅8.3 どうにもならない事を、どうにかしようとして | 羅90.7 抱著对于没办法的事
- \*羅10.12 ぼんやりした火の光をうけて | 羅91.12 受着谈谈的光
- \*羅11.4-5 火をともした松の木切れを持つて | 羅91.18 拿着点火的松明
- \*羅16.9 わきにかかえて | 羅93.23 俠着
- \*羅7.2 輪を描いて | 羅89.11 转着圓圈

### A.3.2 てみた / ていた

- 雪532上9-10 雪に覆はれてみた | 雪45.5 有雪覆着的
- 雪532上12 生々とした草が顔を出したりしてみた | 雪45.6 有活生生的草露着面孔
- 雪532中26 ゼツと静まつてみた | 雪47.4 凝靜着不動
- 雪532下20 氣はついてみた | 雪48.5 感覺着
- 雪534中12 鮭を焼いてみた | 雪55.6 燒着鹽鮭
- 雪534中26 旅人の顔を見守つてみた | 雪55.12 守看着行人的面孔
- 雪536上15-6 宿なしになつて歩き廻つてみた | 雪62.4 過着流浪的生活
- 雪536中6 重くるしく立ちこめてみた | 雪63.1 沈沈地落着
- 雪536中30 そんなことを耳語り合つてみた | 雪64.6 把這樣的話相互耳語着
- \*羅6.1 雨やみを待つていた | 羅89.1 待着雨住
- \*羅7.8 雨のふるのを眺めていた | 羅89.17 看着雨下
- \*羅9.11 上の容子を窺つていた | 羅90.28 窺探着樓上的情形
- \*羅10.14 永久に唾の如く黙つていた | 羅91.13 哑似的永久的默着
- \*羅11.5 死骸の一つの顔を…眺めていた | 羅91.19 注视着死尸之一的脸
- \*羅15.9 この話を聞いていた | 羅93.12 听着些话
- \*羅9.11 上の容子を窺つていた | 羅90.28 窺探着樓上的情形

### A.3.3 てゐただ

- 雪536上11 姉さんの死ぬのを待つてゐただ | 雪62.2 等待着姐姐的昇天

### A.3.4 てな

- \*羅14.7 この髪を抜いてな | 羅92.27 拔了这头发啊

### B.1 (終止形)

- 雪532上4 ガツシリと枝を組み | 雪45.2 密地交着枝

### B.2 (連体形)

- 雪532中12 悪あつたかくクシヤクシヤ刺す、手袋 | 雪46.9 暖沃沃地怪刺着兩頬
- 雪536中3 降りつむ雪の氣配 | 雪62.12 粉粉地降着氣配

**B.2 だ (終止形)**

雪532中4 云うまでもなく雪沓だ | 雪46.5 不用説是用着雪纏

雪535上22 大人しく聞くんだ | 雪59.1 好生地聽着

雪535中10 あつちこつちと追ひかけ廻すのだ | 雪59.8 東東西西地追尋着他

**B.3.1 で (助詞)**

雪533上14 障子じきりで | 雪49.5 『障子』 隔着

雪533上22 股火で | 雪49.11 跨着火

雪534中2 手酌で | 雪54.12 斟滿着

**B.3.2 で (連用形)**

雪533中5 火鉢を狭んで | 雪50.7 挟着火盆

雪536中2 口を嚙んで | 雪62.12 把口嚙着

雪536中4 衆を恃んで | 雪63.1 仗着勢衆

**B.4.1 てある**

雪533上11 懸け連ねられてある | 雪49.5 掛着

\* 羅10.7 いくつかの死骸が、無造作に棄ててある | 羅91.8 胡乱的抛着几个死尸

**B.4.2 てある / ている (終止形)**

雪532上11 少しばかり黒い土の色に隅どられてある | 雪45.5 有少許的黑土被圈範着

雪532上22 兵隊の外套を…着てある | 雪46.1 穿着軍隊的外套

雪532上24 帯の上から背負つてある | 雪46.2 在帶上吊着

雪533上18 青い舌を吐いてある | 雪49.9 吐着青色的舌頭

\* 羅6.3 蟋蟀が一匹とまつている | 羅89.3 停着一匹的蟋蟀

\* 羅9.12 かすかに、その男の右の頬を濡らしている | 羅91.1 微微的照着这男人的右颊

(別構文)

\* 羅10.4 火をともしている | 羅91.5 能明着火的

**B.4.3 てある (連体形)**

雪532中5 杖についてある洋傘 | 雪46.5 當着手仗的洋傘

雪535上4 預けられてある子供たち | 雪58.2 寄留着的兒童

雪536上21 はひつてある牢獄 | 雪62.6 所住着的牢獄

**B.4.4 てあるぞ**

雪534下1 待つてあるぞ | 雪56.5 我等着你的

**B.4.5 ているのである**

\* 羅15.10 聞いているのである | 羅93.13 正听着

**B.4.6 てはある**

雪532中7 灰色になつてはある | 雪46.5 呈着灰色的

**B.4.7** で行く

雪532下6-7 雪をこいで行く | 雪47.10 在齊拐的雪中蹶着走

**B.5** と

雪534中30 云ふと思ふと | 雪56.4 一説着

雪536中5 取り圍まうと | 雪63.1 想要包圍着的一様

**B.6** なかを

雪536中7 雪の降りしきるなかを | 雪63.2 那樣地落着大雪

**B.7** ながら

雪533上21 生徒たちの悪戯を監視しながら | 雪49.10 把生徒們的惡作戲監視着

雪533上31 かう云ひながら | 雪50.1 這樣説着

雪535上14-5 揺り動かしながら | 雪58.8 搖擺着

雪535上19 大事さうに杯に注ぎながら | 雪58.10 愛惜地斟着

\*羅7.8 気にしながら | 羅89.17 恼着

\*羅9.9 気をつけながら | 羅90.24 留心着

雪534上26 片手で湯呑に酒を注がせながら | 雪54.8 一隻手揣着茶盃

雪534中25-6 残つた酒をやりながら | 雪55.12 呷着残酒

雪535上15 唇を舐めづり廻しながら | 雪58.10 舐着嘴唇

\*羅7.2 啼きながら跳びまわつている | 羅89.12 啼着飞舞

\*羅9.4 頸をちぢめながら | 羅90.21 缩着颈子

\*羅15.8 太刀の柄を左の手でおさえながら | 羅93.12 左手按着刀柄

\*羅12.15 死骸につまずきながら | 羅91.9 絆着死尸絆跲

\*羅13.13 老婆を、見下ろしながら | 羅92.19 俯视着老嫗

\*羅15.9 大きな面皷を気にしながら | 羅93.13 按着那... 大顆的面皷

**B.8** に

雪532上13 ダラダラ登りに | 雪45.6 慢慢地爬着

雪536上26 自分の身代わりに | 雪62.8 替代着自己

**B.9** まで

雪533上4 奥の突當りまで | 雪49.4 抵着壁

**B.10** やうな

雪536上10 と云ふやうな料簡で | 雪62.1 懷着那樣的見解

**B.11** その他

\*羅13.4 鶏の脚のような、骨と皮ばかりの腕 | 羅92.12 只剩着皮骨，宛然鸡脚一般的臂  
膊

...

**C.1 ろ**

雪535下29 聞いてろ | 雪61.8 聽着

\*

**I.2 着…着**

**B.1 たり…たり**

\*羅10.11-2 口を開けたり手を延ばしたりして | 羅91.10-11 或者张着嘴或者伸着手

\*羅6.8 丹がついたり、金銀の箔がついたりした木 | 羅89.7 带着丹漆，带着金銀的木块

\*

**I.3 着的**

**A.1 た (助動詞連用形)**

雪532中1 歩きだしたやうだ | 雪46.3 在走着的一樣

**A.2 た (助動詞連体形)**

雪532中24-5 葉末を雪に抑へられた枝 | 雪47.3 葉稍為雪所壓着的極枝

雪532下2 …と現した文字 | 雪47.7 所寫着的…文字

雪533上4 立つた旅人 | 雪49.1 立着的行人

**A.3 てゐたやうだ**

雪532下10 かたまつてゐたやうだ | 雪47.12 聚集着的

**A.4 てゐたんだ**

雪536上29-30 待つてゐなければならぬはめになつてゐたんだ | 雪62.12 等待着的

**A.5 てゐて**

雪536中13 あげくれ待つてゐて | 雪63.5 無晝無夜都在等待着的

.

**B.1 (連体形)**

雪532下18 跳び廻る足音 | 雪48.5 跑着的足音

雪536中10 十七年振で遇ふ大好きな姉さん | 雪63.3 十七年才又碰着的最愛の姐姐

**B.2 てゐる (連用形)**

雪532中1 外套についてゐる頭巾 | 雪46.3 在外套上連着的風帽<sup>7</sup>

**B.3 てゐる (終止形)**

雪532上19 さう知らせてゐる | 雪45.9 告訴着的

\*

---

7 Cf. 崔 p. 417

**I.4 着…的**

**A.1 た (連用形)**

\*羅11.13 まるで弩にでも弾かれたように | 羅92.7 简直像被弩机弹着似的

**A.2 た (連体形)**

\*羅9.9 藁草履をはいた足を、その梯子の一番下の段へふみかけた | 羅90.25 抬起登着草鞋的脚来、踏上这梯子的最下的第一级去

\*羅14.4 髪を抜いた女 | 羅93.5 拔着那头发的女人

\*

**I.5 着了**

**A.1 た**

雪532下29 鳴りを静めた | 雪48.10 靜鎮着了

雪536中16 兩掌に額を支へた | 雪63.7 把兩掌按着了額頭

**A.2.1 て**

雪535中1 王様の御家來にとつつかまつて | 雪59.5 給國王的下手人捉着了

**A.2.2 てゐた**

雪532中31 風は死んだやうに落ちてゐた | 雪47.4 風是像死了的一樣靜止着了

\*

**I.6 着…了**

**A.1 てゐた**

雪534下25 おりかけてゐた | 雪57.8 在下着坡了

**B.1 でいる**

\*羅14.4 何か物でも咬んでいるように | 羅92.24 咬着什么似的动起来了 (咬は別字)

\*

**I.7 着啦**

**B.1 てるぞ**

雪532下28 あいてるぞ | 雪48.11 開着啦

\*

**I.8 着在**

**B.1 てゐる**

雪532上23 卷かれたままになつてゐる | 雪46.2 捲着在

\*

**I.9 在…着**

**B.1 でゐる**

雪532中19 岩に噎んでゐる | 雪46.19 在噎着岩頭

\*

## I.10 在…着…了

### A.1 てゐた

雪534下24-5 坂をおりかけてゐた | 雪57.8 已經在下着坡了

\*

## I.11 介詞

### 同着

雪535上31 それに先生はもとよりだ | 雪59.5 連同着那先生是不消說

\*

## I.12 著<sup>8</sup>

### A.1 ていた

\*羅14.1 何をしていたのだから | 羅92.21 做著什么的事

\*羅8.4 雨の音を、聞くともなく聞いていたのである | 羅90.8 并不听而自听著那从前便打着朱雀大路的雨音

## II 了

## II.1 了

### A.1.1 た (終止形)

雪532上1 道は針葉樹の密林にはひつた | 雪45.1 路走進針葉樹的密林裏去了

雪532上16 炭焼きの林に近づいた | 雪45.7 走到… 燒炭村了

雪532下1 旅人は洋傘を扱げた | 雪47.7 靜行人把洋傘開了

雪532下14 その家が見なくなつた | 雪48.2 藏下去了

雪532下29 鳴りを静めた | 雪48.10 靜鎮着了

雪534上15 兩足をかけた | 雪54.1 把兩脚踏在了

雪534上27 頭巾をはねた | 雪54.7 把風帽脫了

雪534中4 あふつた | 雪54.12 喝了

雪534中6 一息に飲ほした | 雪55.2 一口氣地喝了

雪534下9 ものを云つた | 雪56.9 說了

雪535上9 お話をねだられなければならなかつた | 雪58.5 不能不為兒童強迫着談故事了

雪535上11 少し酔つた | 雪58.6 有點醉了

8 罗竹风主编『汉语大词典9』上海 漢語大詞典出版社 1992<sup>1</sup>, 1994<sup>2</sup>, p. 430 著<sup>3</sup> 助词。①紧接动词后、表示动作、状态的持续。②用在某些形容词后面、表示程度的比较等。

雪535下18 あんた酔いなすつた | 雪61.2 你醉了

雪536中17 涙がぼたりぼたりと、大きな圍爐裏の灰に落ちた | 雪63.7 眼淚一珠一珠地  
落下了大圍爐裏的灰裏

\* 羅6.10 顧みる者がなかつた | 羅89.8 没有人过问了

\* 羅7.11 四、五日前に暇を出された | 羅90.2 已经在四五日之前将他遣散了

\* 羅13.4 扭じ倒した | 羅13.11 硬将伊捻倒了

\* 羅14.3 何か物でも嚙んでいるように動かした | 羅13.25 嚼着什么似的动起来了

\* 羅15.11 ある勇氣が生れて来た | 羅93.14 发动的勇气了

雪532上15 水の音が聞こえだした | 雪45.7 聽出了流水的聲音

雪532中14 襟卷のそとに出した | 雪46.10 伸出了圍巾外來

雪532中30 出はづれた | 雪47.6 走出了林子

雪533上1 鉢合わせをしさうになつた | 雪48.11 幾乎碰了頭

雪533中12 夢を見た | 雪50.12 做了夢

雪534下23 額をあてた | 雪57.7 抵着了冷浸的玻璃窗

雪535上8 二合ふやして貰つた | 雪58.4 強迫・ . . 添了兩合

雪535中27 首をチヨン切られた | 雪60.4 受了屠戮

雪535下2 乱暴なことをした | 雪60.7 做出了那樣殘忍的事情

雪535下25 牢獄にぶちこまれた | 雪61.5 被投在了牢獄裏

雪535下30 牢にぶちこまれた | 雪61.9 被投進了牢裏

雪536中16 額を支へた | 雪63.7 按着了額頭

雪536下7 口を抑へるやうな手つきをした | 雪64.10 做出了把口掩閉着的手勢

\* 羅8.11 この局所へ逢着した | 羅90.13 于到了这处所

\* 羅10.5 急な梯子を、一番上の段まで這うようにして上りつめた | 羅91.6 到了这峻急  
的梯子的第一级

\* 羅14.8 失望した | 羅13.28 不觉失了望

\* 羅15.7 こんな意味の事をいつた | 羅93.11 说了些这样意思的

雪532上20 一息ついた | 雪45.9 息了一口氣

雪532上14 可なり長いこと續いた | 雪45.6 可爬了好一會

雪532中27 一寸心を惹かれた | 雪47.4 為這姿勢稍稍動了一下心

---

9 参考：邓英树，张一舟主编「四川方言词汇研究」北京 中国社会科学出版社 2009, p.19 “四川方言动词没有 AA 或 ABAB 式的重叠方式，... 而用“你说一下”，“我们讨论一下”之类的说法。

雪534下11 獨語ちた | 雪56.11 自語了一下

雪533中21 切符は買へた | 雪51.5 買到了…車票

雪532下9 やがて家が見えた | 雪47.11 現出了人家

雪535上23 えらい先生があつた | 雪59.1 有了一位不起的先生

\*羅6.7 災がつづいて起こつた | 羅89.5 接连的起了…灾变

#### A.1.2 だ (終止形)

雪536上23 たうとう姉さんが死んだ | 雪62.7 姐姐終竟死了

雪533中11 死んだ | 雪50.11 死了

#### A.1.3 た (連体形)

雪534中18 平げて了つたところでな | 雪55.9 剛好才乾淨了

雪532中31 山懐にはひつたせいかな | 雪47.6 走進了山腰的緣故罷

\*羅10.1 すぐそれと知れたのである | 羅91.4 也就可以明白了

\*羅14.14 干したのを | 羅93.6 晒干了 (別構文)

雪534上9 買つて來た塩鮭 | 雪53.11 買了去點鹹鮭

\*羅8.11 低徊した揚句に | 羅90.13 徘徊了许多回

#### A.1.4 たか

雪533中30 夢を見たか | 雪51.11 做了夢?

雪533下25 夢のしらせがあつたか | 雪53.2 做了夢

#### A.1.5 だかい (助動詞連体形)

雪534下10 死んだかい | 雪56.10 死了

#### A.1.6 たから

雪535下7 それほどにされたから | 雪60.8 到了那樣

#### A.1.7 だのだ

雪536上27 死んだのだ | 雪62.9 死了

#### A.1.8 たちや

雪536中22 酔ひなさつたちや | 雪63.11 醉得也有點樣子了

#### A.1.9 たのである (起来了)

\*羅11.8 「頭身の毛も太る」ように感じたのである | 羅91.21 覺得“毛戴”起来了

\*羅11.15 強さを増して來たのである | 羅91.26 一点一点的强盛起来了

#### A.1.10 たんだ

雪535中11 追いつめられて來たんだ | 雪59.10 追逼緊來了

雪535下1 撫でたんだ | 雪60.6 熨了一下

雪535下8 かくしたんだ | 雪60.9 藏在了

A.2.1 で<sup>1</sup>

雪534中2 目を潤まして | 雪54.12 眼睛立刻湿了

雪535中1 王様の御家来にとつつかまつて | 雪59.11 給國王的手下人捉着了

\* 羅11.7 六分の恐怖と四分の好奇心とに動かされて | 羅91.20 被六分的恐怖和四分的好  
奇心所动了

\* 羅6.8 仏像や仏具を打ち碎いて | 羅89.6 将佛像佛具打碎了

\* 羅8.6 夕闇は次第に空を低くして | 羅90.10 黄昏使天空低下了

雪532中13 撫で廻して | 雪46.9 抹了一下

雪534上7 撫でて | 雪53.9 麾了一下

雪534中5 喉を鳴らして | 雪55.1 把喉嚨響了一下

雪534下9 一寸の間、美しい眼を輝かして | 雪56.9 把那美的眼睛閃了一下

雪532中16 ツウン痛んで | 雪46.11 痛串了一樣

雪534中27 三杯飲んで | 雪56.2 喝了三杯

雪532下4 二三度あふつて | 雪47.8 抖了兩三次

雪533中23 ここへ寄つて | 雪51.6 到了這兒

雪532中1 足が生えて | 雪46.3 生了腳

雪532下16 幾度か仰いで | 雪48.2 抬了幾次頭來

雪534下12 獨鈍い眼の色に返つて | 雪56.11 回到了無聊到不堪的沈鈍的顏色

雪536上26 牢獄へ行つて | 雪62.8 進了牢獄

雪536中12 死骸になつて | 雪63.4 成為了屍骸

\* 羅9.4 紺の襖の肩を高くして | 羅90.21 高聳了补着…青袄的肩头

\* 羅9.11 猫のように身をちぢめて | 羅90.28 猫似的缩了身体

\* 羅10.5 頸を出来るだけ、前へ出して | 羅91.7 竭力的伸长了颈子

\* 羅13.1 下人をつきのけて | 羅92.9 冲开了家将

\* 羅13.11 ある仕事をして | 羅13.18 成就了一件事业的时候的

\* 羅13.13 声を柔げて | 羅13.18 放软了声音

\* 羅16.14 短い白髪を倒にして | 羅93.27 倒挂了短的白发

\* 羅8.5 雨は羅生門をつつんで | 羅90.10 雨是围住了罗生门

\* 羅10.4 足音を盗んで | 羅91.4 忍了足音

\* 羅13.3 老婆の腕をつかんで | 羅13.11 抓住了老妪的臂膊

**A.2.2 て<sup>2</sup> (連用形)**

雪3下18 聞いてあきれる | 雪52.11 聽了會發怔啦

雪535下23 酔つてたまるか | 雪61.4 醉了還成事

**A.2.3 てゐた / ていた**

雪532下17 ヒヨツコリと立つてゐた | 雪48.3 忽然立在了

雪535上3 預かることにしてゐた | 雪58.2 留在了

雪534中1 見るもいやらしい相好になつてゐた | 雪54.10 成了很刺目的一樣面相

雪532上7 黒い腹を見せてゐた | 雪45.3 現出了黑暗的肚腹

雪534中30 藁沓のなかへ足を入れてゐた | 雪56.4 穿上了雪纏

\* 羅7.12 京都の町は一通りならず衰微していた | 羅90.2 京都是非常之衰微了

\* 羅11.7-8 呼吸をするのさえ忘れていた | 羅91.20 忘却了呼吸

**A.2.4 てゐたんだ**

雪535下6 もう追手がかかつてゐたんだ | 雪60.8 追手事已經逼近了

**A.2.5 て行つた**

雪532下2 雪に覆はれて行つた | 雪47.8 便為雪所遮掩了

雪534上13 住居の方へはひつて行つた | 雪53.12 向住房裏去了

\* 羅11.13 恐怖が少しずつ消えて行つた | 羅91.25 恐怖也一点一点的消去了

**A.2.6 てから**

雪532中4 林にはいつてから | 雪46.1 進了林子之後

**A.2.7 て来た / で来た**

雪533中1 引き返して来た | 雪50.12 轉來了

雪532下19 洩れて来た | 雪48.4 洩漏了出來

雪533下2 頂いて来た | 雪52.1 領了回來

**A.2.8 てしまった / て了つた**

雪534中24 食つて了つた | 雪55.12 吃了

雪535中2 切られて了つた | 雪59.6 被斫掉了

\* 羅13.11 冷ましてしまった | 羅13.18 冷却了

\* 羅9.3 もうどこかへ行つてしまった | 羅90.20 早已跑到不知那里去了

**A.2.9 てな**

雪535中6 薬売りにばけてな | 雪59.8 把裝變了

羅14.7 この髪を抜いてな | 羅13.27 拔了这头发啊

**A.2.10** ても

羅8.12 何時までたつても | 羅90.15 虽然经过了许多时

**A.2.11** てやつた

雪535中15 預かつてやつた | 雪59.11 藏在了自己的家裏

**A.2.12** て<sup>3</sup> (了來)

雪532中4 云ふまでもなく雪沓だが、林にはいつてからつぼめて | 雪46.5 不用说是用着  
雪纏…收攏了來

**A.2.13** て<sup>4</sup> (了…來)

雪535下14 いろいろ云つて | 雪60.11 說了好些話來

**A.2.14** だした (了起来)

雪532中20 歩きだした | 雪47.1 走動了起來

**A.2.15** てあげた (來了)

雪533中24 来てあげた | 雪51.7 特意走來了

雪534上22 茶道具やらを運んで来た | 雪54.5 把茶具等都搬運了來

\*羅11.13-4 激しい憎悪が、少しずつ動いて来た | 羅91.25 憎恶，渐渐的发动了

**A.2.16** だした (起了來)

雪535上19 話しだした | 雪58.11 開始說起了來

**B.1** (連体形) (了罢)

\*羅7.4 刻限が遅いせいとか | 羅89.14 因为时刻太晚了罢

\*羅8.7 手段を選んでいる違はない | 羅90.12 没有工夫来拣手段了

**B.2** (連体形)

雪534中22 通じるのか通じないのか | 雪55.11 聽見了還是沒聽見

雪535下9 本はあるし | 雪60.9 搜出了…書

雪535下9 檢べると | 雪60.9 搜查了

\*羅16.7 足にしがみつこうとする老婆 | 羅93.22 将挽住了他的脚的这老嫗

**B.3** (連用形) (了…來)

\*羅11.11 手に従つて抜けるらしい | 羅91.23 似乎随手的拔了下来

\*羅11.12 髪の毛が、一本ずつ抜けるに従つて | 羅91.24 头发一根一根的拔了下来时

**B.4** ない (連用形) (來…了)

\*羅9.6 腰にさげた聖柄の太刀が鞘走らないように | 羅90.25 横在腰间的素柄刀，免得  
他出了鞘

**B.5** なれば (了起来)

雪535下3 ひつつれになれば | 雪60.7 因為那火傷痕結了起來

**B.6 まいからなア (了…罷)**

雪536下11 なりおるまいからなア | 雪64.12 變成了叫化子罷

**B.7 だ**

雪534下6 自分の體になれるんだ | 雪56.7 成了自己的身子

**B.8 である**

\*羅15.13 反対な方向に動こうとする勇氣である | 羅93.15 向反对方面发动的勇气了

\*羅7.4 啄みに来るのである | 羅89.14 啄食那门上的死人的肉而来了

**B.9 てゐる / ている (連用形)**

雪532上18 廻つてゐるかも知れない | 雪45.8 過了正午也不可不知

\*羅12.9 とうに忘れてゐるのである | 羅91.4 早经忘却了

**B.10 てゐる / ている / である (終止形)**

雪533下23 亭主になりすましてゐる | 雪53.1 成了一位… 老板

雪536中11 死んでゐる | 雪63.4 死了

\*羅8.7 重たくうす暗い雲を支えている | 羅90.11 支住了昏沉的云物

**B.11 と**

雪532下3 重くなると | 雪47.8 重了

雪532下16 登りきると | 雪48.3 登上了

雪534中12 立續けに四五杯やると | 雪55.6 喝了四五杯

雪534中27 湯呑を置くと | 雪56.2 把茶杯下了

**B.12 とか**

雪533下4 埋めるとか、焼くとか | 雪52.2 是埋了、還是燒了

**B.13 ながら**

雪534中27-8 モグモグやりながら | 雪56.2 把嘴唇咀嚼了一下

\*羅8.13 手段を選ばないという事を肯定しながらも | 羅90.12 肯定了不子拣手段这一节了

\*羅10.5 平らにしながら | 羅91.7 竭力的帖伏了身子

**B.14 ならんぜ**

雪536中25 寐ずばならんぜ | 雪64.1 應該睡了

**B.15 ので**

雪532中28 餘り夥しいので | 雪47.5 太多了

**B.16 まで**

雪532上17 その時刻まで | 雪45.8 到了那個時刻

**B.17 その他**

雪533中21 おつとほしに | 雪51.6 倒了这兒

雪535下10 たまらない | 雪60.10 可不得了

雪535下17 心配さうに | 雪61.1 擔起了心來

雪535下18 もういかねえ | 雪61.2 不行了

雪534中29 お世話さん | 雪56.3 婆婆了

雪535中31 焼饅 | 雪60.6 藏燒好了的熨鐵

雪536上5-6 今更 | 雪61.12 到了現在

\*羅7.2 高い鷓尾のまわりを | 羅89.12 繞了最高的鷓尾

### C.1 たら

雪535下20 酔つたら駄目ぢや | 雪61.2 酔了是沒有的

雪535下21 酔つたらはア | 雪61.3 喝醉了

### C.2 よう (助動詞終止形)

雪533下31 兎に角行つて来よう | 雪53.5 總之我走了

## II.2 了…了

### A.1 ても

雪536.上16 顔かたちまで變つても | 雪62.4 改了装改了相

### A.2 た (終止形)

\*羅11.6 殆悉この男の嗅覚を奪つてしまつた | 羅91.15 几乎全夺去了这人的嗅觉了

\*羅14.9 心の中へはいつて来た | 羅93.1 进了心中了

\*羅16.10 急な梯子を夜の底へかけ下りた | 羅93.24 下了峻急的梯子向昏夜里去了

### A.3 た (連体形)

雪536中14 起つて来た時 | 雪63.5 到了眼前來了

### A.4 ていた

\*羅11.5 もう鼻を掩うことを忘れていた | 羅91.15 忘却了掩住鼻子的事了

### B.1 (その他)

\*羅13.2 押しもどす | 羅13.10 推了回来了

## II.3 了呢

### A.1 ただね / ただかねえ

雪536中18 その弟はどうしただね | 雪63.9 那弟弟怎樣了呢

雪536中28 弟はどうしただね | 雪64.4 怎樣了呢

雪536中31 弟はどうしただね | 雪64.7 怎樣了呢

### C.1 (動詞命令形)

雪535下20 もう寐なさろ | 雪61.2 請睡了啦

## II.4 了嗎

### A.1 か

雪533上24 来たか | 雪48.12 你來了嗎

### C.1 だらうぢやアねえか

雪536中20 それでおしまひだらうぢやアねえか | 雪63.11 故事不那樣完了嗎

## II.5 了罷

### C.1 (命令形)

雪535下28 もうよしなされ | 雪61.7 沒講了罷

## II.6 了的

### A.1 た / だ (連用形)

雪532上2 凧でもしたやうに | 雪45.1 像吹過了的一樣

雪532中31 死んだやうに | 雪47.6 像死了的一樣

### A.2 た / だ (連体形)

雪532上2 息をとつて行かれさうだつた風 | 雪45.1 把呼吸都去了的風

雪532上20 こいで來た彼 | 雪45.9 走來了的他

雪532中2 寒さに赤くなつた鼻の先 | 雪46.1 凍紅了的鼻

雪536中8 牢死した、一牢獄で死んだ姉さん | 雪63.2 癩死了的—在牢獄中死了的姐姐

雪536中8 死骸を引き取つた或る男 | 雪63.3 癩死了的收殮了的一位男子

雪532中15 氷水をかつこんだ時のやうに | 雪46.10 把冷水吸進了的一樣

雪536下8 死んだ人 | 雪64.11 死了的人们

雪532下26 つぼめた洋傘 | 雪48.7 收了的洋傘

雪535中24 亡くなられた先生 | 雪60.3 死了的先生

### B.1 てゐる / ている

雪532中23 折れてゐるところ | 雪47.2 被折斷了的地方

\*羅13.3 分かっている | 羅13.11 知道了的

## II.7 了…的

### B.1 てある

雪532上22 黒いのと取り變へてある | 雪46.1 換了黑色的

## II.8 了…來

### A.1 た

雪534上24 湯呑を差した | 雪54.7 把茶盃伸了過來

### A.2 て

雪533中26 ここへ來て | 雪51.8 到了這兒來

雪534中3 湯呑を取つて | 雪54.12 拿了一個茶杯來

雪534中14 たけの皮包の握飯を出して | 雪55.7 取出了筍殼包的飯團來

## II.9 了起來

### A.1 て

雪534中6 高笑をして | 雪55.3 大笑了起來

雪536下4 涙に輝く眼をあげて | 雪64.9 把在眼淚中亮着的眼睛舉了起來

## II.10 了…來的

### A.1 た

\*羅13.11 後に残つたのは | 羅13.18 剩了下来的

## II.11 了…的了

### A.1 だ事であろう

\*羅12.2 餓死を選んだ事であろう | 羅91.28 拣了饿死的了

## II.12 的了

### A.1 た

\*羅9.6 夜を明かそうと思つたからである | 羅90.23 想在此度夜的了

### B.1 だ

雪534下6 自分の體だ | 雪56.7 我身子便是我自己的了

\*羅16.5-6 餓死する体なのだ | 羅93.21 要饿死了的

## II.13 介詞

### II.13.1 除了

\*羅6.2 この男の外に | 羅89.2 除了这男子

### II.13.2 揭了

\*羅11.8 旧記の記者の語を借りれば | 羅91.20 揭了旧记的记者的话來

### II.13.3 用了

\*羅16.1 嘲るような声で | 罗93.19 用了嘲弄似的声音

### II.13.4 借了

\*羅16.13 火の光をたよりに | 罗93.24 借了还在燃烧的火光

## III 啦

### III.1 啦

#### A.1 た

雪534中17 生憎だつた | 雪55.9 不湊巧啦

#### A.2 て

雪534上10 兎に角ここへ上がつて | 雪53.11 總之你上来啦

#### B.1 (終止形肯定)

雪533下17 聞いて呆れる | 雪52.11 聽了會發怔啦

雪535下29 うるさい | 雪61.8 討厭啦

雪536下6 何を云はつしやる | 雪64.10 你那說的什麼話啦

#### B.2 (終止形否定)

雪533下22 そんな殊勝なんぢアない | 雪53.1 不是那樣高貴的啦

雪533下27-8 つまらない | 雪53.3 不行的啦

雪534中9 めつたにない | 雪55.4 很少啦

雪534下5 分からない | 雪56.7 說不定啦

雪535下21 一文の値打ちもねえ | 雪61.3 是一個錢也不值的啦

雪536中22 早う寐かしてあげずばならん | 雪63.12 雪應該早點讓他睡啦

#### B.3 だ

雪535中26 さうだ | 雪52.3 是啦

雪534上1 なんと云ふところだ | 雪53.5 甚麼招牌啦

雪535上20 とつときのお話だ | 雪58.11 這故事…還沒對誰說過啦

雪535上26 さうだ、さうだ | 雪59.2 是啦、是啦

雪535中3 えらい先生なんだ | 雪59.6 了不起的先生啦

雪536上24 どうだ | 雪62.5 怎樣啦

雪536下9 十七年、十七年と云へば永い話だ | 雪64.11 十七年啦、十七年說起來本是長

#### B.4 から

雪534中30 時間があることだから | 雪56.5 是要趕時候的啦

**B.5 な**

雪535中11 つまり弟のだな | 雪59.8 就是她的弟弟啦

**B.6 だらう (推測)**

雪535上27 切支丹伴天連と云ふのを知つてゐるだらう | 雪59.2 懂得「切支丹伴天連」  
啦

雪536上24 悲しいことだらう | 雪62.7 傷心的事情啦

**B.7 ちや / ぢや**

雪535下19 明日の晩のこつちや | 雪61.2 明天晚上再談啦

雪535下26 駄目ぢや | 雪61.6 不行啦

雪535下28 駄目ぢや駄目ぢや | 61.7 不行啦不行啦

雪536中24-5 明日の晩のことぢや | 64.2 只好等明天晚上再講啦

雪536中27 みんなこしらへ話ぢや | 雪64.3 通是假話啦

**B.8 ぜ**

雪534下2 待つてゐるぜ | 雪56.6 等你啦

**B.9 から**

雪536中23 もう半時の上を長起きしてゐるぢやから | 雪63.12 已經捱過半點鐘啦

**B.10.1 な**

雪534下1 いいな | 雪56.5 還想聽下去啦

雪534中8 大分飲むな | 雪55.3 很能喝啦

雪534中18 もうちよつと早かつたらな | 雪55.9 來得再早一點就好啦

雪534中21 なんにもならないしな | 雪55.10 不可啦

雪534下2 きつとよつてくれな | 雪56.5 定來啦

**B.10.2 なア**

雪533下24-5 もう五年以上も遇わなかつたわけだなア | 雪53.2 我們已經五年不見啦

雪536中29 もつと聞きたいなア | 雪64.5 還想聽下去啦

**B.11 よ**

雪533中27 達者でゐるよ | 雪51.9 是健康的啦

**B.12 だつて (間投詞)**

雪536中26 だつて、弟が | 雪64.2 不過啦那弟弟

**B.13 (その他)**

雪534下16 まあ然し | 雪57.1 但是啦

**C.1 (命令形)**

雪533中4 遊びなさい | 雪50.6 玩啦

雪533下7 まあ死顔でも見てやれ | 雪52.5 好去看看死人的面孔啦

雪533下9 まア待て | 雪52.14 您停一下啦

雪534上5 ま、待て | 雪53.8 你等一下啦

雪535下12 まあ待て | 雪60.11 等一下啦

雪535下20 もう寝なさろ | 雪61.2 請睡了啦

雪534下1 是非来てくれ | 雪56.5 請來啦

## C.2 か

雪535下24 いいか | 雪61.4 好啦

雪534上7 かつこまして貰ふか | 雪53.9 泡下去啦

雪534中9 もう一杯貰はうか | 雪55.4 再想喝一杯啦

雪533中2 遊んでくれんか | 雪50.5 玩得稍稍清靜一點啦

雪533下29-30 夜もすがら飲もうぢアないか | 雪53.4 可以來醉一個穿夜啦

## C.3 がな

雪533下21 俺も転げ込むがな | 雪52.13 我也可以混緊去啦

## C.4 から

雪535中23 死ぬから | 雪60.3 死啦

## C.5 とも

雪536下8 するとも | 雪64.10 幹的啦

## C.6 よ

雪534上6 食つて行けよ | 雪53.8 用了去啦

雪534上24 頭巾をとれよ | 雪54.7 把頭巾脱了啦

雪534下4 A市からはさつさと消えろよ | 雪56.6 要趕快離開 A 市啦

## III.2 的啦

### B.1 だ

雪534下3 長居は無用だ | 雪56.6 久住是不可的啦

雪534下6 俺ももう自分の體だ | 雪56.7 我這身子便是我自己的啦

### B.2 ぢや

雪535下22 駄目だと云うんぢや | 雪61.2 是不行的啦

### B.3 (その他)

雪533中7 しかしどうして | 雪50.8 怎的啦

## III.3 了啦

### A.1 た (終止形)

雪536中21 九時を打つた | 雪63.11 已經九點過了啦

A.2 た (連体形)

雪533下24 もう五年以上も遇はなかつたわけだなア | 雪53.2 已經五年不見了啦

C.1 よ

雪534上25 頭巾をとれよ | 雪54.7 把頭巾脫了啦

III.4 了…啦

C.1 よ

雪534上5 食つて行けよ | 雪53.8 用了去啦

## IV 把

IV.1 を

IV.1.1 (天)

雪532上6 天をかくして | 雪45.3 把天空隱障着

IV.1.2 (思ひ)

雪535中25 思ひを晴らして | 雪60.3 把死了的先生的遺志繼續起來

IV.1.3 (行為)

雪533上21 生徒たちの悪戯を監視しながら | 雪49.10 把生徒們的惡作戲監視着

IV.1.4 (身体) / (身体の部分)

雪535上14-5 肘で凭せかけてゐる上半身をグラグラと前後に揺り動かしながら云つた  
| 雪58.7-8 把上半身靠在撐着膝頭的兩肘上搖擺着說

雪534中12 二人の足の間に顔を突込んで | 雪55.6 把腦殼伸進两人的脚間

雪535中8 姿を變へて | 雪59.8 把裝改變了

雪535下16 ギョロリと目を据ゑて | 雪60.11 把眼睛疑着

雪536下4 涙に輝く眼をあげて | 雪64.9 把在眼淚中亮着的眼睛舉了起來

雪534下16 冷たい硝子窓に額をあてた | 雪57.7 把額頭去低着了冷浸的玻璃窗

雪536中8 死骸を引き取つた或る男 | 雪63.2 把他的…姐姐的屍骸收殮的一位男子

雪536下7 その口を押えるやうな手つきをした | 雪64.10 做出了把口掩閉着的手勢

雪536中2 口を嚙んで | 雪62.12 把口嚙着

雪532中13 ほつそりと痩せ細つた顎を襟卷の外に出した | 雪46.9 把尖削地瘦着的下耙  
伸出了圍巾外來

雪536上18 手をゆるめたわけぢやないのだから | 雪62.5 不肯把手放鬆

雪534上19 両手を火にかざした | 雪54.2 把兩手烤在火上

雪532中10 時代ものの手袋の両手をダラリと柄に重ねて | 雪46.7 把有古式的手套…帶

### 着的兩隻手

雪536中15 指を突込んで | 雪63.7 把手指插進

雪532中21 左右の足を前に動かし続ける動物 | 雪47.1 把左右兩腿永遠向前進的動物

雪532中8 足をとめて | 雪46.7 把腳停着

雪534下9 美しい眼を輝かして | 雪56.7 把那美好的眼睛閃了一下

雪534中27-8 唇をモグモグやりながら | 雪56.2 把嘴唇咀嚼了一下

雪534中5 喉を鳴らして | 雪55.1 把喉嚨響了一下

雪534上15 大きな箱火鉢の縁へ両足をかけた | 雪54.2 把兩腳塔在了大的木匣火盆上

雪534上6 ふくらんだ尻を撫でて | 雪53.9 把龐着的屁股麾了一下

#### IV.1.5 (事物)

雪531上24 湯呑を差した | 雪54.7 把茶杯伸了過來

雪533上26 土間にあつた生徒の雪沓を突掛けて踏出してゐた片足を引いて | 雪50.1 把躡着土間中的生徒的雪纏踏出去的一隻腳受轉來

雪534上27 片手で頭巾をはねた | 雪54.8 一隻手把風帽脫了

雪534下24 越中富山千金丹本家の某をかたげて | 雪57.8 把「越中富山千金丹本家某某」偏着

雪534上24 頭巾をとれよ | 雪54.7 把頭巾脫了啦

雪534中14 膝の上で風呂敷包をといて | 雪55.6 把膝上的包單子解開

雪534上14 風呂敷包をぬき出しながら | 雪54.1 把單包子出來

雪532下31 白い陶器の取手を廻した | 雪48.12 把白磁的門柄扭着

雪533中5 隔ての硝子戸をたてきつて | 雪50.7 把隔着的玻璃門關緊來

雪533上19 教場の出這入り口の硝子戸をたてて | 雪49.10 把教場進口的玻璃窗門拉上

雪533中5 椅子を向い合わせに置いた | 雪50.7 把椅子對放着

雪533上21 椅子を一脚寄せて | 雪49.11 把椅子拉在木匣火盆止前

雪533中5-6 火鉢を狭んで椅子を向い合わせに置いた | 雪50.7 把狹着火盆椅子對放着

雪533中1 コオルテン張の椅子を持つて | 雪50.4 把一張布面的椅子拿着

雪533上4 白張の洋傘を相手の鼻の先へ突出した | 雪49.2 把白布的洋傘擊到對手的鼻子

雪532中8 洋傘を前に | 雪46.7 把那洋傘插在前面

雪535中15 伴天連の本をすつかり自分の家に預つてやつた | 雪59.11 把…伴天連」的經典都藏在了自己的家屋

雪536中30 そんなことを耳語り合つてゐた | 雪64.6 把這樣的話相互耳語着

#### IV.1.6 (飲食物)

雪534上21 鮭の切身…を運んできた | 雪54.4 把鮭魚的切片…搬運來了

雪535上17 残り少なくなつた酒を、大事さうに杯に注ぎながら | 雪58.10 把剩得不多的  
殘酒、愛惜地斟着

雪535上7 三合のおしきせを、下男の金造にせびつて | 雪58.4 把三合的晚酌強迫着男撲  
的金造

#### IV.2 が (身体の部分)

雪532下19-20 子供の顔が五つ六つ好奇らしく硝子窓に押しつけられてゐる | 雪48.4-5  
更還有五六個兒童的面孔是好奇地把面孔抵在玻璃窗上的

#### IV.3 は (事物)

雪534下2 学校の方は休みにして | 雪56.6 把學校課休息着

#### IV.4 に

##### IV.4.1 (身体の部分)

雪536中16 兩掌に額を支へた | 雪63.7 把兩掌按着了額頭

##### IV.4.2 (喧騒)

雪533上20 そつちの喧騒に遠ざかりながら | 雪49.10 把那兒的喧囂隔斷着

#### IV.5 には (人)

雪534中23 相手には目もくれずに | 雪55.10 竟連一眼也不把對手看一下

## V 將

#### V.1 を

##### V.1.1 (心)

羅13.11 今までけわしく燃えていた憎悪の心を | 羅92.17 將先前那熾烈的憎惡之心

##### V.1.2 (身体) (身体の部分)

羅6.11 引取り手のない死人を | 羅89.9 將生出將无主的死尸

羅16.8 足にしがみつこうとする老婆を | 羅93.22 將挽住了的脚的这老嫗

羅7.7 洗いざらした紺の襖の尻を据えて | 羅89.16 將那洗旧的紅青袄的臀部

##### V.1.3 (動物)

羅14.5 蛇を四寸ばかりずつに切つて | 羅93.6 將蛇切成四寸長

##### V.1.4 (事物)

羅6.8 仏像や仏具を打ち碎いて | 羅89.6 將佛像佛具打碎了

羅7.11 その主人からは、四、五日前に暇を出された | 罗90.2 从这主人, 已经在四五日之前将他遣散了 (構文不同)

羅8.8 どうにもならない事を、どうにかするためには | 罗90.12 因为要将没法办的事来怎么办

羅11.9 松の木片を、床板の間に挿して | 罗91.19 将松明插在楼板的缝中

羅13.6 白い鋼の色をその眼の前へつきつけた | 罗92.14 将雪色的钢色, 塞在伊的眼前

## VI 略<sup>10</sup>

### VI.1 ぞ

雪534上2 一寸分かりにくいぞ | 雪53.5 有点难找咯

### 表

#### I 着

#### I.1 着

A.1	た / だ (終止形)	○	○
A.2	た / だ (連体形)	○	○
A.3.1	て	○	○
A.3.2	てゐた / ていた	○	○
A.3.3	てゐたんだ	○	×
A.3.4	てな	×	○
B.1	(動詞連体形)	○	×
B.2	だ (終止形)	○	×
B.3.1	で (名詞+で)	○	×
B.3.2	で (動詞+で)	○	×
B.4.1	である	○	○
B.4.2	てゐる / ている (終止形)	○	○
B.4.3	てゐる (連体形)	○	×
B.4.4	てゐるぞ	○	×
B.4.5	ているのである	×	○
B.4.6	てはいる	○	×

10 王文虎・張一舟・周家筠《四川方言词典》p.277 囉。

<b>B.4.7</b>	で行く	○	×
<b>B.5</b>	と	○	×
<b>B.6</b>	なかを	○	×
<b>B.7</b>	ながら	○	○
<b>B.8</b>	に	○	×
<b>B.9</b>	まで	○	×
<b>B.10</b>	やうな	○	×
<b>B.11</b>	その他 (別構文)	×	○
<b>C.1</b>	ろ	○	×
<b>I.2 着…着</b>			
<b>B.1</b>	たり…たり (連用形)	×	○
<b>I.3 着的</b>			
<b>A.1</b>	た (連用形)	○	×
<b>A.2</b>	た (連体形)	○	×
<b>A.3</b>	てゐたやうだ	○	×
<b>A.4</b>	てゐたんだ	○	×
<b>A.5</b>	てゐて	○	×
<b>B.1</b>	(連体形)	○	×
<b>B.2</b>	てゐる (連用形)	○	×
<b>B.3</b>	てゐる (終止形)	○	×
<b>I.4 着…的</b>			
<b>A.1</b>	た (連用形)	×	○
<b>A.2</b>	た (連体形)	×	○
<b>I.5 着了</b>			
<b>A.1</b>	た	○	×
<b>A.2.1</b>	て <sup>1</sup>	○	×
<b>A.2.2</b>	てゐた	○	×
<b>I.6 着…了</b>			
<b>A.1</b>	てゐた	○	×

B.1	でいる	×	○
I.7	着啦		
B.1	てるぞ	○	×
I.8	着在		
B.1	てゐる	○	×
I.9	在…着		
B.1	でゐる	○	×
I.10	在…着…了		
A.1	てゐた	×	○
I.11	介詞		
	同着	○	×
I.12	著		
A.1	ていた	○	×

## II 了

II.1	了		
	日本語の種々の表現に対する「了」の用法を考察する。		
A.1.1	た（終止形）	○	○
A.1.2	だ（終止形）	○	×
A.1.3	た（連体形）	○	○
A.1.4	たか	○	×
A.1.5	だかい（助動詞連体形）	○	×
A.1.6	たから	○	×
A.1.7	だのだ	○	×
A.1.8	たぢや	○	×
A.1.9	たのである	×	○
A.1.10	たんだ	○	×

A.2.1	で <sup>1</sup>	○	○
A.2.2	で <sup>2</sup>	○	×
A.2.3	てみた / ていた	○	○
A.2.4	てみたんだ	○	×
A.2.5	て行つた	○	○
A.2.6	てから	○	×
A.2.7	て来た / で来た	○	×
A.2.8	てしまった / て了つた	○	○
A.2.9	てな	○	○
A.2.10	ても	○	×
A.2.11	てやつた	○	×
A.2.12	で <sup>3</sup>	○	×
A.2.13	で <sup>4</sup>	○	×
A.2.14	だした	○	×
A.2.15	てあげた	○	○
A.2.16	だした	○	×
B.1	(連体形)	×	○
B.2	(連体形)	○	○
B.3	(連用形)	×	○
B.4	ない (連用形)	×	○
B.5	なれば (仮定形)	○	×
B.6	まいからなア (未然形)	○	×
B.7	だ	○	×
B.8	である	×	○
B.9	てゐる / ている (連用形)	○	○
B.10	てゐる / ている / である (終止形)	○	○
B.11	と	○	×
B.12	とか	○	×
B.13	ながら	○	○
B.14	ならんぜ	○	×
B.15	ので	○	×
B.16	まで	○	×
B.17	その他	○	○
C.1	たら	○	×

C.2	よう	○	×
<b>II.2 了…了</b>			
A.1	ても	○	×
A.2	た (終止形)	×	○
A.3	た (連体形)	○	×
A.4	ていた	×	○
B.1	(その他)	×	○
<b>II.3 了呢</b>			
A.1	ただね / ただかねえ	○	×
C.1	(命令形)	○	×
<b>II.4 了嗎</b>			
A.1	たか	○	×
C.1	だらうぢアねえか	○	×
<b>II.5 了罷</b>			
C.1	(命令形)	○	×
<b>II.6 了的</b>			
A.1	た / だ (連用)	○	×
A.2	た / だ (連体形)	○	×
B.1	てゐる / ている	○	○
<b>II.7 了…的</b>			
B.1	である	○	×
<b>II.8 了…來</b>			
A.1	た	○	×
A.2	て	○	×
<b>II.9 了起來</b>			
A.1	て	○	×

<b>II.10</b>	<b>了…来的</b>		
A.1	た	×	○
<b>II.11</b>	<b>了…的了</b>		
A.1	だ事であらう	×	○
<b>II.12</b>	<b>的了</b>		
A.1	た	×	○
B.1	だ	○	○
<b>II.13</b>	<b>介詞</b>		
II.13.1	除了	×	○
II.13.2	揭了	×	○
II.13.3	用了	×	○
II.13.4	借了	×	○

### III 啦

日本語の種々の表現に対する「啦」の用法は郭沫若のみに見られる。

<b>III.1</b>	<b>啦</b>		
A.1	た	○	×
A.2	て	○	×
B.1	(動詞終止形肯定)	○	×
B.2	(動詞終止形否定)	○	×
B.3	だ	○	×
B.4	だから	○	×
B.5	だな	○	×
B.6	だらう	○	×
B.7	ちや / ぢや	○	×
B.8.1	てゐるぜ	○	×
B.8.2	てゐるぢやから	○	×
B.9.1	な	○	×
B.9.2	なア	○	×

<b>B.10</b>	よ	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
<b>B.11</b>	だつて	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
<b>B.12</b>	(その他)	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
<b>C.1</b>	(命令形)	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
<b>C.2</b>	か	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
<b>C.3</b>	がな	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
<b>C.4</b>	から	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
<b>C.5</b>	とも	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
<b>C.6</b>	よ	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
<b>III.2 的啦</b>			
<b>B.1</b>	だ	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
<b>B.2</b>	ぢや	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
<b>B.3</b>	(その他)	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
<b>III.3 了啦</b>			
<b>A.1</b>	た (終止形)	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
<b>A.2</b>	た (連体形)	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
<b>C.1</b>	よ	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
<b>III.4 了…啦</b>			
<b>C.1</b>	よ	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>

## IV 把

日本語の「を」に対する「把」の用法は郭沫若のみに見られる。

<b>IV.1</b>	を		
<b>IV.1.1</b>	(天)	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
<b>IV.1.2</b>	(思い)	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
<b>IV.1.3</b>	(行為)	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
<b>IV.1.4</b>	(身体) / (身体の部分)	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
<b>IV.1.5</b>	(事物)	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
<b>IV.1.6</b>	(飲食物)	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>

IV.2	が (身体の部分)	○	×
IV.3	に		
IV.3.1	(身体の部分)	○	×
IV.3.2	(喧騒)	○	×
IV.4	には (人)	○	×

## V 將

日本語の「を」に対する「將」の用法は魯迅にのみ見られる。

V.1	を		
V.1.1	(心)	×	○
V.1.2	(身体) (身体の部分)	×	○
V.1.3	(動物)	×	○
V.1.4	(事物)	×	○

## VI 略

日本語の「ぞ」に対する「略」の用法は郭沫若にのみ見られる。

VI.1	ぞ	○	×
------	---	---	---

## 別表

郭沫若と魯迅の用法は以下のようである。

## I 着

I.1	着		
A.1	た / だ (動詞終止形)	○	○
A.2	た / だ (助動詞連体形)	○	○
A.3.1	て	○	○

- |              |                 |                       |                       |
|--------------|-----------------|-----------------------|-----------------------|
| <b>A.3.2</b> | てみた / ていた       | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| <b>B.4.1</b> | である             | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| <b>B.4.2</b> | てゐる / ている (終止形) | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| <b>B.7</b>   | ながら             | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

**Note 1** 両者は「着」を完了・過去時制と現在時制とに用いた。

- |              |            |                          |                          |
|--------------|------------|--------------------------|--------------------------|
| <b>A.3.3</b> | てみたんだ      | <input type="radio"/>    | <input type="checkbox"/> |
| <b>B.1</b>   | (動詞連体形)    | <input type="radio"/>    | <input type="checkbox"/> |
| <b>B.2</b>   | だ (助動詞終止形) | <input type="radio"/>    | <input type="checkbox"/> |
| <b>B.3.1</b> | で (名詞+で)   | <input type="radio"/>    | <input type="checkbox"/> |
| <b>B.3.2</b> | で (動詞+で)   | <input type="radio"/>    | <input type="checkbox"/> |
| <b>B.4.3</b> | てゐる (連体形)  | <input type="radio"/>    | <input type="checkbox"/> |
| <b>B.4.4</b> | てゐるぞ       | <input type="radio"/>    | <input type="checkbox"/> |
| <b>B.4.6</b> | ではいる       | <input type="radio"/>    | <input type="checkbox"/> |
| <b>B.4.7</b> | で行く        | <input type="radio"/>    | <input type="checkbox"/> |
| <b>B.5</b>   | と          | <input type="radio"/>    | <input type="checkbox"/> |
| <b>B.6</b>   | なかを        | <input type="radio"/>    | <input type="checkbox"/> |
| <b>B.8</b>   | に          | <input type="radio"/>    | <input type="checkbox"/> |
| <b>B.9</b>   | まで         | <input type="radio"/>    | <input type="checkbox"/> |
| <b>B.10</b>  | やうな        | <input type="radio"/>    | <input type="checkbox"/> |
| <b>C.1</b>   | ろ          | <input type="radio"/>    | <input type="checkbox"/> |
| <b>B.4.5</b> | ているのである    | <input type="checkbox"/> | <input type="radio"/>    |
| <b>B.11</b>  | その他 (別構文)  | <input type="checkbox"/> | <input type="radio"/>    |

**Note 2** 郭沫若は「着」を未来時制に用いた。

- |            |           |                       |                          |
|------------|-----------|-----------------------|--------------------------|
| <b>I.3</b> | <b>着的</b> |                       |                          |
| <b>A.1</b> | た (連用形)   | <input type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| <b>A.2</b> | た (連体形)   | <input type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| <b>A.3</b> | てみたやうだ    | <input type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| <b>A.4</b> | てみたんだ     | <input type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| <b>A.5</b> | てゐて       | <input type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| <b>B.1</b> | (動詞連体形)   | <input type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| <b>B.2</b> | てゐる (連用形) | <input type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| <b>B.3</b> | てゐる (連体形) | <input type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |

**Note 3** 郭沫若は「着的」を完了・過去時制と現在時制とに用いた。

**I.5 着了**

A.1	た	○	×
A.2.1	て	○	×
A.2.2	てゐた	○	×
A.2.3	てゐた	○	×

**Note 4** 郭沫若は「着了」を完了・過去時制に用いた。

**I.7 着啦**

B.1	てるぞ	○	×
-----	-----	---	---

**I.8 着在**

B.1	てゐる	○	×
-----	-----	---	---

**I.9 在…着**

B.1	である	○	×
-----	-----	---	---

**Note 5** 郭沫若は「着啦」、「着在」、「在…着」を現在時制に用いた。

**I.10 在…着…了**

A.1	てゐた	○	×
-----	-----	---	---

**I.11 介詞**

	同着	○	×
--	----	---	---

**I.12 著**

A.1	ていた	○	×
-----	-----	---	---

**Note 6** 郭沫若による完了・過去時制「著」の使用は1例のみである。

□

**I.2 着…着**

B.1	たり…たり	×	○
-----	-------	---	---

**Note 7** 魯迅は「着…着」を現在時制に用いた。

**I.4 着…的**

A.1	た (連用形)	×	○
A.2	た (連体形)	×	○

**I.6 着…了**

**B.1** ている × ○

**Note 8** 魯迅は「着…了」を現在時制に用いた。

**II 了**

**II.1 了**

日本語の種々の表現に対する「了」の用法を考察する。

**A.1.1** た（終止形） ○ ○

**A.1.3** た（連体形） ○ ○

**A.2.1** て<sup>1</sup> ○ ○

**A.2.3** てみた / ていた ○ ○

**A.2.5** て行つた ○ ○

**A.2.8** てしまつた / て了つた ○ ○

**A.2.9** てな ○ ○

**A.2.15** てあげた ○ ○

**B.2** （連体形） ○ ○

**B.9** てゐる / ている（連用形） ○ ○

**B.10** てゐる / ている / である（終止形） ○ ○

**B.13** ながら ○ ○

**B.17** その他 ○ ○

**Note 9** 両者が「了」を完了・過去時制と現在時制に用いた。

**A.1.2** だ（終止形） ○ ×

**A.1.4** たか ○ ×

**A.1.5** だかい（助動詞連体形） ○ ×

**A.1.6** たから ○ ×

**A.1.7** だのだ ○ ×

**A.1.8** たぢや ○ ×

**A.1.10** たんだ ○ ×

**A.2.2** て<sup>2</sup> ○ ×

**A.2.4** てゐたんだ ○ ×

**A.2.6** てから ○ ×

**A.2.7** て来た / で来た ○ ×

**A.2.10** ても ○ ×

A.2.11	てやつた	○	×
A.2.12	て <sup>3</sup>	○	×
A.2.13	て <sup>4</sup>	○	×
A.2.14	だした	○	×
A.2.16	だした	○	×
B.5	なれば (仮定形)	○	×
B.6	まいからなア (未然形)	○	×
B.7	だ	○	×
B.11	と	○	×
B.12	とか	○	×
B.14	ならんぜ	○	×
B.15	ので	○	×
B.16	まで	○	×
C.1	たら	○	×
C.2	よう	○	×

A.1.9	たのである	×	○
B.1	(連体形)	×	○
B.3	(連用形)	×	○
B.4	ない (連用形)	×	○
B.8	である	×	○

Note 10 郭沫若は「了」を完了過去時制、現在時制、未来時制に、  
魯迅は完了過去時制、現在時制に用いた。

II.2	了…了		
A.1	ても	○	×
A.3	た (連体形)	○	×
A.2	た (終止形)	×	○
A.4	ていた	×	○
B.1	(その他)	×	○

Note 11 郭沫若は「了…了」を完了・過去時制に、  
魯迅は完了・過去時制と現在時制に用いた。

**II.3 了呢**

A.1 ただね / ただかねえ ○ ×

C.1 (命令形) ○ ×

**II.4 了嗎**

A.1 たか ○ ×

C.1 だらうぢやねえか ○ ×

**Note 12** 郭沫若は「了呢」と「了嗎」を完了・過去時制と未来時制とに用いた。

**II.5 了羅**

C.1 (命令形) ○ ×

**Note 13** 郭沫若は「了羅」を未来時制に用いた。

**II.6 了的**

B.1 てゐる / ている ○ ○

**Note 14** 両者は「了的」を現在時制に用いた。

A.1 た / だ (連用形) ○ ×

A.2 た / だ (連体形) ○ ×

**Note 15** 郭沫若は「了的」を完了・過去時制に用いた。

**II.7 了…的**

B.1 である ○ ×

**Note 16** 郭沫若は「了…的」を現在時制に用いた。

**II.8 了…來**

A.1 た ○ ×

A.2 て ○ ×

**II.9 了起來**

A.1 て ○ ×

**Note 17** 郭沫若は「了…來」と「了起來」を完了・過去時制に用いた。

**II.10 了…来的**

A.1 た × ○

**II.11 了…的了**

A.1 だ事であろう × ○

**Note 18** 魯迅は「了…来的」と「了…的了」を完了・過去時制に用いた。

**II.12 的了**

A.1 た × ○

B.1 だ ○ ○

**Note 19** 両者は「的了」を現在時制に、魯迅は完了・過去時制にも用いた。

**II.13 介詞**

II.13.1 除了 × ○

II.13.2 揭了 × ○

II.13.3 用了 × ○

II.13.4 借了 × ○

**Note 20** 魯迅のみ上記の介詞を用いた。

**III 啦**

**III.1 啦**

A.1 た ○ ×

A.2 て ○ ×

B.1 (終止形肯定) ○ ×

B.2 (終止形否定) ○ ×

B.3 だ ○ ×

B.4 から ○ ×

B.5 な ○ ×

B.6 だらう (推測) ○ ×

B.7 ちや / ぢや ○ ×

B.8.1 ぜ ○ ×

B.8.2 てゐるぢやから ○ ×

B.9.1 な ○ ×

B.9.2	なア	○	×
B.10	よ	○	×
B.11	だつて (間投詞)	○	×
B.12	その他	○	×
C.1	(命令形)	○	×
C.1	か	○	×
C.2	ながら	○	×
C.3	がな	○	×
C.4	から	○	×
C.5	とも	○	×
C.6	よ	○	×

**Note 21** 郭沫若は「啦」を現在時制、完了・過去時制、未来時制に用いた。

### III.2 的啦

B.1	だ	○	×
B.2	ちや	○	×
B.3	(その他)	○	×

**Note 22** 郭沫若は「的啦」を現在時制に用いた。

### III.3 了啦

A.1	た (終止形)	○	×
A.2	た (連体形)	○	×
C.1	よ	○	×

**Note 23** 郭沫若は「了啦」を完了・過去時制と未来時制に用いた。

### III.4 了…啦

C.1	よ	○	×
-----	---	---	---

**Note 24** 郭沫若は「了…啦」を未来時制に用いた。

## IV 把

### IV.1 を

IV.1.1	(天)	○	×
IV.1.2	(思ひ)	○	×

IV.1.3	(行為)	○	×
IV.1.4	(身体 / 身体の部分)	○	×
IV.1.5	(事物)	○	×
IV.1.6	(飲食物)	○	×
IV.2	が (身体の部分)	○	×
IV.3	は (事物)	○	×
IV.4	に	○	×
IV.4.1	(身体の部分)	○	×
IV.4.2	(喧騒)	○	×
IV.5	には (人)	○	×

Note 25 郭沫若のみ「把」を用いた。

## V 将

V.1	を		
V.1.1	(心)	×	○
V.1.2	(身体) (身体の部分)	×	○
V.1.3	(動物)	×	○
V.1.4	(事物)	×	○

Note 26 魯迅のみ「将」を用いた。

## VI 略<sup>11</sup>

VI.1	ぞ	○	×
------	---	---	---

Note 27 郭沫若のみ「略」を用いた。

11 罗竹风主编『汉语大词典』漢収録されていない。

**結 語**

**I 「着」, 「著」, 「了」, 「啦」の用法**

**A 郭沫若と魯迅とが一致**

- A.1 「着」を完了・過去時制と現在時制とに用いた。[Note 1]
- A.2 「了」を完了・過去時制と現在時制に用いた。[Note 9]
- A.3 郭沫若は「了…了」を完了・過去時制に、魯迅は完了・過去時制と現在時制に用いた。[Note 11]
- A.4 「了的」を現在時制に用いた。[Note 14]

**B 郭沫若のみ使用**

- B.1 「着」を未来時制にも用いた。[Note 2]
- B.2 「着的」を完了・過去時制と現在時制とに用いた。[Note 3]
- B.3 「着了」を完了・過去時制に用いた。[Note 4]
- B.4 「着啦」、「着在」、「在…着」を現在時制に用いた。[Note 5]
- B.5 「著」を完了・過去時制に用いた。[Note 6]
- B.8 「了呢」と「了嗎」を完了・過去時制と未来時制とに用いた。[Note 12]
- B.9 「了羅」を未来時制に用いた。[Note 13]
- B.10 「了的」を完了・過去時制に用いた。[Note 15]
- B.11 「了…的」を現在時制に用いた。[Note 16]
- B.12 「了…來」と「了起來」を完了・過去時制に用いた。[Note 17]
- B.13 「啦」を現在時制、完了・過去時制、未来時制に用いた。[Note 21]
- B.14 「的啦」を現在時制に用いた。[Note 22]
- B.15 「了啦」を完了・過去時制と未来時制に用いた。[Note 23]
- B.16 「了…啦」を未来時制に用いた。[Note 24]

**C 魯迅のみ使用**

- C.1 「着…着」を現在時制に用いた。[Note 7]
- C.2 「着…了」を現在時制に用いた。[Note 8]
- C.3 「了…来的」と「了…的了」を完了・過去時制に用いた。[Note 18]

**D 郭沫若と魯迅とが不一致**

- D.1 「了的」を現在時制に、魯迅は完了・過去時制にも用いた。[Note 19]
- D.2 郭沫若は「了」を完了過去時制、現在時制、未来時制に、魯迅は完了過去時制、現在時制に用いた。[Note 10]

**II 「把」, 「咯」, 「将」の用法**

- 1. 郭沫若のみ「把」を用いた。[Note 25]

2. 郭沫若のみ「咯」を用いた。[Note 27]

3. 魯迅のみ「将」を用いた。[Note 26]

郭沫若と魯迅は対照的である。

### III 介詞の用法

1. 郭沫若のみ「同着」を用いた。

2. 魯迅のみ介詞「除了」、「掲了」、「用了」、「借了」を用いた。[Note 20]

魯迅は郭沫若より介詞の使用が多い。

### IV 概括

1. 郭沫若と魯迅が共用したのは4例である。[A]

2. 郭沫若は魯迅より表現性に富む。[B]

3. 魯迅のみ用いたのは3例である。[C]

### 参 考

文献の表題と関係する箇所を記す。

- 1 王洪林著 四川方言會通 巴蜀書社 2008.  
p. 252 来 用在动词前表要做某事  
p. 254 了 助词表示肯定或确定某种情况  
了 表祈使语气  
p. 258 把 用于某些抽象的事物
- 2 邓英树 张一舟 主编《四川方言词汇研究》北京 中国社会科学出版社 2009.  
p. 19 四 动词有不同于普通话的体貌表示方法  
(一) 用动词加补语“一下”表尝试或短时的动作行为  
(二) 用“V + 倒/起”表示动作或状态的迅速持续
- 3 崔荣昌《四川境内的客方言 上》四川 巴蜀書社 2010.  
p. 87 普通話表示時體的方式是在謂語後面伽“着”(進行體)，“了”(完成體)和“過”(經歷體)。四川客家話除表示曾經過某種動作或性狀的經歷體用“過”…這一點跟普通話相同外，其餘均有所不同  
崔榮昌《四川境内的客方言 下》四川 巴蜀出版社 2011.  
第五章 四昌家客家話 伍 四昌客家話語法  
肆 四昌家客家話詞彙  
十二 衣服 穿戴 p. 799 : 50 手套  
二十四 代词等 p. 831 : 33 雙那雙，那個  
二十七 次動詞 p. 835 : 3 把，7 : 在  
伍 四昌家客家話語法  
語序 p. 864 : 81 了，pp. 864-665 : 82 着、
- 4 邓英树 张一舟 主编《四川方言词汇研究》中国社会科学出版社 2010.  
p. 21 四川方言被动关系，普遍用“着”(成都话读 tsau<sup>21</sup>，现在多写作“遭”)表示。  
“着”本是动词，是“遭遇到(不好的事情)”的意思，四川话现在仍有动词用法。如“地

震的时候，他们家的人没着，只是房子着垮了。”表被动的“着”略普通话的“被”一样，可以用作介词，引进动作行为的施事，也可以用作助词，直接用在谓语中动词性词语之前，表示被动。如“杯子着被他打烂了”。跟普通话“被”不同的是，“着”tsau<sup>2</sup> 只用来表示不如意的事情。普通话“他被选为班长了”。

- 5 原由起子 再论“在V着”——从日汉对比观察其特征《中国语法研究》中国語文法研究会編集 京都 朋友書店 2015.  
pp. 19-41.
- 6.1 罗竹风主编『汉语大词典9』上海 漢語大詞典出版社 1994<sup>2</sup> (1992<sup>1</sup>).  
p. 169 着<sup>4</sup> 助词。①紧接动词后，表示动作、状态的持续。②用在某些形容词后面、表示程度的比较等。③紧接在某些动词后或放在某些祈使句末、表示强调、催促、商量、请求等语气。④加在某些介词后面、使变成复合介词。
- 6.2 罗竹风主编《汉语大词典1》上海 漢語大詞典出版社 第一卷 1990.  
p. 722 了<sup>2</sup> ①表时态。(1)表示动作或变化的完成（不论事实或虚拟、过去或未来）。(2)用在重迭的动词之间、表示短车暂之间动作的重复。②表语气。(1)表示肯定或确定某种情况。(2)表示祈使。
- 6.3 罗竹风主编《汉语大词典3》上海 漢語大詞典出版社 1989.  
p. 372 啦<sup>2</sup> 助词。“了”(le)和“啊”的合音。表示事情已经完成，兼有感叹或惊讶的语气。
- 6.4 罗竹风主编《汉语大词典6》上海 漢語大詞典出版社 1990.  
p. 422 把<sup>1</sup> ⑭介词。(1)犹当，当作。(2)让，使得。(3)在。(4)将。(5)对于。(6)被。(7)从。
- 6.5 罗竹风主编《汉语大词典》上海 漢語大詞典出版社 1991.  
p. 806 将<sup>1</sup> ⑳介词。(1)把。(2)供；与。(3)用。(4)从。
- 6.6 略は罗竹风主编《汉语大词典》漢取録されていない。  
著者感谢于亚老师（大手前大学非常勤）的各种指教。
- 6.7 芥川龍之介「日本小説の支那訳」（大正十四年三月）筑摩類聚 芥川龍之介全集 第四卷」東京 筑摩書房 1971（昭和46年）：ページ数  
「翻訳は、僕自身の作品に徴すれば、中々正確に訳してある。」
- 6.8 李威周 陶振纲 张向民 郭沫若选译《日本短篇小说集》的内容和意义  
p. 167：这是郭沫若三十年代思想的一份珍贵资料，出典